

人権学習展開例〔第2学年〕

1 主 題 自尊感情を高める

2 教材名

17 からだをうつそう



3 主題・教材について

自分自身を客観的に見つめ、自分の成長を確かめたり、よいところを見つけたり、あるいは、友だちからよいところを発見してもらったりすることは、自尊感情を高める上で有効であると考えられる。

この教材では、等身大の自分の姿を描いたり、等身大に描かれた友だちの姿を見たりすることを通して、その表現の後ろにある「いのち」を感じ取らせたい。また、その作業を通してお互いのよさを発見させたい。

（関連教科・領域：特別活動、図工科、道徳）

4 ねらい

- ・自分や友だちの「気持ち」の表し方を知り、お互いに共有する。
- ・自分のよいところ、友だちのよいところを発見する。

5 指導計画

第1次 「気持ち」を表すポーズを考え、表現する。

第2次 友だちと協力して、互いの体を写し、等身大の自画像を描く。

第3次 自画像（もう一人の自分）を見つめ、自尊感情を高める。

6 展開例

第1次

○ねらい 「気持ち」を表すポーズを考え、表現する。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	「気持ち」には、どのようなものがあるだろう。		
	・「気持ち」には、どのようなものがあるかを考え、発表し合う。	・「うれしい」「かなしい」「はらがたつ」「さみしい」「つらい」など日常生活の様々な場面での「気持ち」について考えさせる。	
展 開	いろいろな「気持ち」を、体で表そう。		
	・グループに分かれて、いろいろな「気持ち」を体で表現する。	・様々な「気持ち」を表すポーズを考えさせる。 ・どんな「気持ち」を表したポーズなのかクイズ形式で進めてもよい。	
開	自分と友だちの表し方を比べよう。		
	・グループのみんなで、それぞれの「気持ち」のポーズを一斉にする。 ・それぞれの「気持ち」の表現方法を比べる。 ・友だちの「気持ち」の表し方について感じたことを発表する。	・同じ「気持ち」でも、人によって表現方法に違いがあることに気づかせる。	
ま と め	・次時の活動内容の説明を聞く。	・友だちと協力して、「気持ち」を表すポーズを描くことを伝える。	

○ねらい 友だちと協力して、互いの体を写し、等身大の自画像を描く。

○ねらい 友だちと協力して、互いの体を写し、等身大の自画像を描く。

○ねらい 友だちと協力して、互いの体を写し、等身大の自画像を描く。

第3次

○ねらい 自画像（もう一人の自分）を見つめ、自尊感情を高める。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	互いの自画像を見てまわる。	- 子どもたちの自画像を教室に掲示しておく。 - 自己紹介カードもしっかり見ることを伝える。	前時に完成した自画像
展開	友だちへのメッセージカードを書いて、絵に貼ろう。		友だちへのメッセージカード
	友だちへのメッセージカードに、メッセージを書き込み、友だちの絵に貼る。	- 友だちのよいところや、友だちへの感謝の言葉など、もらってうれしくなる内容にさせる。 - 自画像が隠れないように貼るようにさせる。	
	もう一度、もう一人の自分を見つめよう。		自分への手紙 罫紙
	メッセージカードが貼られた自分の自画像を見る。	貼られたカードを読むことで自尊感情の高まりが期待できる。	
まとめ	学習をふり返ろう。		
	学習をふり返る。	ありのままの自分を認めることの大切さに気づかせたい。	

【参考資料】国際理解教育センターERIC『いっしょに学ぼう』

【自己紹介カード】

こんにちはわたしです

なまえ

とくいなことは

すきなことは

いま
今、がんばっていることは

【友だちへのメッセージカード】

さんへ

() より

